



2021年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月7日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 平井 伸太郎

TEL 054-288-8899

四半期報告書提出予定日 2021年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	21,070	15.8	1,170	31.5	1,257	28.5	829	25.4
2020年6月期第3四半期	25,029	6.7	1,708	9.5	1,758	9.3	1,112	13.9

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 980百万円 (3.1%) 2020年6月期第3四半期 1,011百万円 (24.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	206.14	
2020年6月期第3四半期	276.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	24,458	14,126	55.2
2020年6月期	24,178	13,374	52.8

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 13,498百万円 2020年6月期 12,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		55.00	55.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	6.4	1,400	29.7	1,450	29.3	800	37.5	198.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期3Q	4,369,200 株	2020年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	2021年6月期3Q	344,799 株	2020年6月期	344,799 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期3Q	4,024,401 株	2020年6月期3Q	4,024,329 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外での経済活動が依然として大きく制限を受け、緊急事態宣言の解除など一進一退を繰り返すも消費マインドの低下が進み、景気の先行きは依然として不透明感が拭えないまま推移いたしました。

当社グループとしましては、経営基本方針としている「One Stop Shopping」施策を引き続き推し進め、受注範囲の拡大及び収益性の向上を目指し、新たなビジネスモデルの構築に尽力して参りました。人手不足が深刻化する環境下での省力化投資によるロボットに対する需要拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、当社グループには強い追い風が吹いております。当第3四半期連結累計期間においては、コロナ禍で設備投資に慎重な姿勢だったお客様からも徐々にではあるものの投資マインドの好転が見られましたが、復調までにはもう少し時間が必要と感じております。

国内外のお客様におかれましては、生産量そのものは殆どコロナ前の水準近くまで回復しており、今後中長期的には新規の設備投資・研究開発投資がさらに拡大していくものと思われまます。設備・研究開発投資依存型のビジネスモデルの当社グループの業績は、半導体不足という不安要因はあるものの多少の時差を伴って拡大期を迎えるものと予想しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は210億70百万円（前年同四半期比15.8%の減）となり、損益面としましては営業利益が11億70百万円（同31.5%の減）、経常利益が12億57百万円（同28.5%の減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が8億29百万円（同25.4%の減）となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、引き続き各種検査装置が好調だったこと、ロボット関連事業の拡大もあり緊急事態宣言解除後は比較的順調に推移しておりましたが、上半期の低調な推移と合わせ、中規模以上の設備投資に対してはまだまだ慎重な姿勢のお客様も多く、前年同四半期に比べ減収・減益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は79億10百万円（前年同四半期比10.8%の減）、営業利益は7億円（同31.0%の減）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等の代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく、安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間においては研究開発投資は依然旺盛であり回復基調は感じられるものの、当事業に占める割合の大きい生産設備への投資は回復基調と言えるまでには届かず、前年同四半期に比べ減収・減益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は131億36百万円（前年同四半期比18.5%の減）、営業利益は6億49百万円（同29.4%の減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は244億58百万円で、前連結会計年度末に比べ2億80百万円の増加となりました。これは主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が11億86百万円減少した一方、現金及び預金が12億16百万円、投資有価証券が1億61百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が103億32百万円で、前連結会計年度末に比べ4億71百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が3億5百万円、未払法人税等が2億9百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が141億26百万円で、前連結会計年度末に比べ7億51百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が6億8百万円、その他有価証券評価差額金が1億11百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されております業績予想につきましては、2020年8月6日に公表いたしました予想数値から変更ありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,613,612	5,830,557
受取手形及び売掛金	8,517,149	7,539,558
電子記録債権	2,174,216	1,965,719
商品及び製品	322,914	382,400
仕掛品	391,026	427,123
原材料	473,533	472,289
その他	228,373	215,402
貸倒引当金	△52,787	△17,750
流動資産合計	16,668,038	16,815,301
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,932,360	3,932,360
その他(純額)	1,071,985	1,038,996
有形固定資産合計	5,004,345	4,971,356
無形固定資産		
	109,897	131,667
投資その他の資産		
投資有価証券	1,537,342	1,698,932
その他	1,193,333	1,207,115
貸倒引当金	△334,672	△365,505
投資その他の資産合計	2,396,003	2,540,541
固定資産合計	7,510,246	7,643,566
資産合計	24,178,285	24,458,867
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,678,336	5,605,083
電子記録債務	1,617,916	1,385,531
未払法人税等	324,777	114,949
賞与引当金	171,661	332,090
役員賞与引当金	44,200	-
その他	762,514	616,236
流動負債合計	8,599,405	8,053,890
固定負債		
長期借入金	1,700,000	1,760,000
退職給付に係る負債	401,804	419,066
その他	102,855	99,724
固定負債合計	2,204,660	2,278,791
負債合計	10,804,065	10,332,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,124	1,872,124
利益剰余金	9,749,075	10,357,332
自己株式	△424,528	△424,528
株主資本合計	12,638,111	13,246,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,230	258,803
退職給付に係る調整累計額	△7,617	△6,474
その他の包括利益累計額合計	139,613	252,328
非支配株主持分	596,494	627,489
純資産合計	13,374,219	14,126,185
負債純資産合計	24,178,285	24,458,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	25,029,261	21,070,098
売上原価	20,387,688	17,110,954
売上総利益	4,641,572	3,959,143
販売費及び一般管理費	2,933,335	2,788,567
営業利益	1,708,236	1,170,575
営業外収益		
受取利息	2,570	2,193
受取配当金	12,615	12,324
仕入割引	28,519	20,090
為替差益	1,936	5,995
貸倒引当金戻入額	-	2,884
解約精算金	-	20,250
雑収入	12,666	31,037
営業外収益合計	58,308	94,775
営業外費用		
支払利息	3,363	2,795
売上割引	2,845	2,871
雑損失	2,006	2,232
営業外費用合計	8,215	7,899
経常利益	1,758,329	1,257,451
特別利益		
固定資産売却益	129	45
投資有価証券売却益	2,137	24,292
保険解約返戻金	4,797	-
特別利益合計	7,064	24,338
特別損失		
固定資産除却損	663	10
特別損失合計	663	10
税金等調整前四半期純利益	1,764,730	1,281,779
法人税等	588,679	423,227
四半期純利益	1,176,051	858,551
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,890	28,953
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,112,160	829,598

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,176,051	858,551
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	-	1,142
その他有価証券評価差額金	△164,788	120,383
その他の包括利益合計	△164,788	121,526
四半期包括利益	1,011,262	980,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	948,277	942,313
非支配株主に係る四半期包括利益	62,984	37,764

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、景気動向がさらに悪化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,872,248	16,123,495	24,995,744	33,517	25,029,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	394,683	379,611	774,294	52,696	826,991
計	9,266,931	16,503,107	25,770,038	86,213	25,856,252
セグメント利益	1,015,413	920,829	1,936,242	74,523	2,010,766

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,936,242
「その他」の区分の利益	74,523
全社費用(注)	△302,529
四半期連結損益計算書の営業利益	1,708,236

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,910,070	13,136,047	21,046,117	23,980	21,070,098
セグメント間の内部売上高又は振替高	218,244	235,307	453,551	57,168	510,720
計	8,128,314	13,371,354	21,499,668	81,149	21,580,818
セグメント利益	700,579	649,696	1,350,276	71,144	1,421,421

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

- 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,350,276
「その他」の区分の利益	71,144
全社費用(注)	△250,845
四半期連結損益計算書の営業利益	1,170,575

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。